

ラ フォレ セ ラ ヴィ —森こそ命—



La Forêt, C'est la Vie !



ブルキナファソ中部のサドレ村。彼方より砂埃と共に疾駆して来たのは馬ではなく、子供たちを背にした牛の一群でした。猛スピードで駆ける牛たちも、それを巧みに操る子供たちも、共に誇らしげです。

蝉がにぎやかに鳴き交わし、やっと夏らしい季節になってきました。日中はなにかと蒸し暑いのですが、朝、目を覚ます頃の空気は、とてもさわやかで気持ちよく感じます。そんなひと時に、緑の濃くなった街路樹を見上げながら、雨季を迎えている現地の様子を思い描いてみるがあります。

まだ町が目覚めきっていない現地の早朝は、おどろくほど静かで落ち着いた雰囲気をもっています。今頃の雨季の朝なら、空気はかすかに水気を帯びて、ひんやりとしています。なんとなく、そのまま夏休みであるかのような気分になってしまうことも少なくありません。と言っても、やがて出勤してくる現地スタッフ達の元気の良い挨拶によって、「ああ、今日も暑くなるぞ」という思いと共に、現実に戻されてしまうのが常なのですが。

それにしても、日本の蒸し暑さには閉口します。現地であれば、30～35℃程度はごく当たり前ののですが、日本では何かのしかかられるような重さを持っているような気がするため、同じ気温でもいっそう暑く感じてしまいます。ですから、閉じられた窓や扉が並ぶビルを見上げながら、冷房のありがたさに頷くこともよくあります。しかしその一方で、暑いときには風通しの良い木陰で寝転んだり、お茶を飲んだりして過ごす現地の生活を思い起こし、複雑な気持ちを感じてしまいます。

場所に依じて、暑い季節の過ごし方はいろいろあると思います。それは、暑さにもいろいろあるからだと思います。ただ、夏は体に負担がかかる季節でもあります。我慢のしすぎや冷やしすぎには、くれぐれもご注意ください。何事も過ぎたるは及ばざるが如しですので。

(緑のサヘル代表 岡本敏樹)

チャリティコンサートに上せて

去る6月10日(日)、大阪府池田市民文化会館において、国際的にも著名なヴァイオリニスト千住真理子さんとピアニスト山洞智さんによるチャリティコンサートが開催されました。

主に関西方面に在住の方々の多大なるご協力を頂き、おかげさまで会場は1000人を超えるお客様で満席となりました。当日配布されたパンフレットには、池田市長の倉田薫様からコンサートによせるメッセージ、在大阪チャド共和国名誉領事の濱田保廣様からご挨拶をいただくなど、コンサート開催に対するご支持の高さをうかがい知ることができました。



皆さん環境問題に対して関心が強く、多くの方々から活動に対する質問や励ましの言葉をいただきました。

会場内には「緑のサヘル」活動紹介コーナーも設けられ、現地の暮らしや事業の様子を伝える写真や資料が展示されました。多くの方々にご関心を持っていただき、スタッフにとっても大きな励みとなりました。

コンサートの主催者のひとつ「アフリカの砂漠で木を植えている日本青年を支援する会(代表・坪居壽美子さん)」の皆様には、1992年以来、チャリティ・バザーなどを通じて多大なるご支援をいただいておりますが、当日は、普段はなかなかお会いすることが難しい関西方面在住の支援者の方々、またアフリカや「緑のサヘル」に関心をお持ちの方々も多く駆けつけて下さり、ヴァイオリンの妙なる調べを楽しみながら、新旧の交流を深める素晴らしい機会となりました。

コンサートの終了後には、募金と収益から計1,056,148円が「緑のサヘル」に寄付されました。この多くの方々によるご厚意は、今後の活動を支える大きな力となります。



当日は一時的に降雨に見舞われたにも関わらず、開場前から多くのお客様にお越しいただきました。会場内に納まりきれない長蛇の列！



緑のサヘルの募金箱を持って、コンサート会場のあちらこちらで大活躍。元気でかわいらしく健気な3人組に、スタッフ一同、大感激！

ご来場者の皆様、関係者の皆様、本当にありがとうございました！



タカバングウ地域生活保全事業/技術移転事業

2007年度は、04年から3年間実施された同事業のフォローアップを行っています。その中心となるのは、村人が移転された技術をどのように活用しているかの調査で、生活改善事業経験の豊富な現地の NGO、OOS（Opération Oasis Sahariennes：サハラ砂漠のオアシス活動）の協力を得て実施されています。

これまでのところ、4つの住民グループ（荒廃地回復、畜耕、裁縫、石鹼作製）のうち、「荒廃地回復グループ」が進める土壌を回復し農作物収量を増やす「ザイ」技術と、石堰を組み合わせた農法の効果は、グループという枠を越えて一般の村人も認識し始めました。個人でこの農法を利用して、耕作をする農民も出てきています。残りの3つのグループは、活動を軌道に乗せるまでもう少し時間が掛かりそうですが、グループメンバーの活動に対する意欲の高さがうかがえます。



穴を掘って堆肥を入れ、雨季を待つ穀物を播種するザイ農法。今年は7月上旬に播種しました。

バム県 小学校緑化支援

2007年度から、中部に位置するバム県で小学校緑化支援を開始しました。ブルキナファソでは、1994年に「一校一林運動」という国家プロジェクトが開始され、その運動のもと、ほとんどの学校が植林を経験しました。

しかしその後、この運動は財政難によって大幅に規模を縮小してしまい、現在は各学校のPTAが後を引き継いで植林活動を支えています。教員や父兄の環境活動に対する意欲は高いのですが、PTAの資金には限りがあり、全ての学校が毎年苗木を購入できるわけではありません。また、知識や技術の不足のため、せっかく植えた苗木を枯らしてしまい、意気消沈している学校も少なくありません。「緑のサヘル」はこのような学校を支援していくつもりです。



講習会には児童、教員、PTA代表等が参加しました。

今年の活動対象校は10校。現地の NGO、AJPEE（環境牧畜保全青年協会）と協力し、7月初めに各学校における植林講習会を実施、現在は全ての学校が計680本の苗木を植樹し終わりました。今後は、水やりなど各学校が行う苗木管理への支援を継続し、年度末には成績発表会を行う予定です。



大阪の教育研修団がブルキナファソ事務所を訪問しました！



視察団は寝屋川市と大阪市にある3つの小学校の先生方6名と、JICA大阪のスタッフの方1名の総勢7名で構成。

去る8月5日、大阪の教育研修団の皆さんがブルキナファソを訪問しました。約1週間の滞在中、JICA事務所や青年海外協力隊員の活動現場、友好関係にある2つの小学校などを視察しました。

以前、「緑のサヘル」がJICA大阪の紹介を受けて同市の梅が丘小学校で講演したことが縁となり、9日には当団体の現地事務所も訪れてくれました。

スタッフによる現地の状況や活動の様子、今後の課題等の説明の後には、質問や提案も多くなされ、真剣な姿勢が印象的でした。ブルキナファソ事務所にとっても、充実した嬉しいひと時となりました。

お知らせ

当団体のスタッフ、水真洋子が2007年7月末日を以って「緑のサヘル」を離れることになりました。

2005年3月から1年半は東京事務局スタッフとして、2006年6月以降の1年間をブルキナファソの現地調整員として精力的に活動してきました。そこに居るだけで場の雰囲気や和やかにする「緑のサヘル」のムードメーカーでしたが、現地の関係者からの信頼も厚く、愛称は「ヨーコ」。首都のワガドゥグでも現場のタカバングウ村でも、「ヨーコ！」という声が常に飛び交っていました。

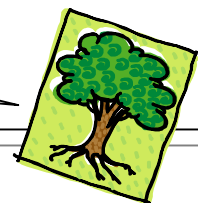
今後も、豊富な経験を生かし、多方面で活躍されることを期待します。



水真さん、ありがとうございました！

チャドおよびタンザニアの活動については、次号で報告致します！

お楽しみに！





今年も春から夏にかけて、週末を利用した様々なイベントが開催されました。「緑のサヘル」でも現場での活動をより多くの方に知っていただくため、展示やワークショップを行いました。

★ アフリカン・フェスタ（5月19日、20日）

5月19日と20日、アフリカにある各国大使館とアフリカにゆかりのあるNPO・NGO 団体が日比谷公園に会し、アフリカン・フェスタが開催されました。

各ブースでは各国の紹介をはじめ民芸品の販売や活動の展示、また会場に設置された二つのステージではアフリカン・ミュージックのライブパフォーマンスが行われました。「緑のサヘル」のブースも、お手伝いにかけてくれたボランティアさんやお客様で賑わい、楽しい2日間となりました。



ボランティアさん、本当にありがとうございました！

★ 国連難民の日（6月20日）

日本ではあまりなじみがないかもしれませんが、国連では6月20日を世界難民の日と定めています。「緑のサヘル」は国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）のパートナーとして、チャド共和国アベシエ地域のスーダン難民キャンプにおいて、3年の間環境保全活動を行った実績があります。今回はその中から改良カマドを選び、一般の方にも難民の生活の一部を知っていただくことにしました。



緑のサヘルのスタッフと一緒に作業をしながら、難民キャンプの様子や支援の状況などに興味深く耳を傾ける参加者。土をこね、形を作りながら、「カマドって何？どうして普及する必要があるの？」という質問をしていた方も、出来上がった時にはカマドの効果について充分理解していただくことができました。



カマドを使って、煮込み料理や焼きおにぎりを作りました。

当日は平日であったにもかかわらず、学生をはじめとする一般のお客様や国連職員、校外学習のグループなどが多く訪れ、実際にカマドを作製したり、カマドを用いた調理や試食などを体験しました。

このイベントの様子は、毎日新聞夕刊や朝日新聞朝刊でも紹介されました。

○ ○ ○ 掲載されました ○ ○ ○

- ▶ (株)エスプレ : 雑誌『*ecocolo*』No. 16 (代表の岡本と環境キャラクター・ユーヴォ君の対談)
- ▶ (株)世界文化社 : 『新版ちきゅう大図鑑』 (地球温暖化に関する記事中に干上がった沼の写真掲載)
- ▶ (株)国際開発ジャーナル : 雑誌『国際開発ジャーナル』2007年5月号 No. 606
(「私の現場主義」にて岡本インタビュー)

他、エコライフフェア 2007 (6/2～6/3) やロハスデザイン大賞展 (5/12～20)、お台場冒険王 (環境省、フジテレビ) でのスタンプラリー・イベント、テレビ西日本の「コミュ！ふくおか『みんなで考えよう 温暖化対策！』」番組内で、「緑のサヘル」が提供した画像が使用されています。

イベント①

グローバルフェスタ JAPAN 2007

「グローバルフェスタ」では、国際協力に携わる多くの団体が活動の紹介をし、各国の民芸品や料理を販売します。ワークショップやライブも行われ、楽しいイベントが盛りだくさんです！！「緑のサヘル」も出展し、スタッフがアフリカで出会った素敵な雑貨やアクセサリを販売します！

- 開催日時 10月6日(土)、7日(日) 10:00～17:00
- 開催会場 日比谷公園
- 入場料 無料

* 主催;グローバルフェスタ JAPAN2007 実行委員会 後援;外務省、JICA、JBIC、JANIC



イベント②

山梨県県民の日記念行事

「緑のサヘル」は、全国の皆さんに活動を知っていただくため、ここ数年は東京以外での講演活動やイベントへの参加にも力を入れています。「まずはスタッフの出身地に！」と岩手県の小中学校講演ツアー、青森県や岡山県での報告会などを行ってきました。今回は、山梨県に進出です。

当日は、環境、健康、生活、物産、国際交流などをテーマにした様々なブースが設けられ、「緑のサヘル」も展示ブースを設けることとなりました。パネルなどの資料を用いて活動の紹介をするほか、民芸品の販売もいたします。お近くの方は、是非遊びに来てください！

- 開催日時 11月10日(土)、11日(日) 10:00～16:00
- 開催会場 山梨県甲府市 小瀬スポーツ公園
- 入場料 無料

* 主催;山梨県県民の日記念行事実行委員会

イベント③

3NGO合同パネル討論

いま、アフリカとつながる ～3つの NGO の現場から～

日本に拠点を置き、西アフリカで活動する3つのNGO団体が、横浜に集いシンポジウムを行います。カラ＝西アフリカ農村自立協力会、FGM 廃絶を支援する女たちの会、緑のサヘルによる活動紹介やパネル討論会、ガーナ出身のパーカッショニストを招いてのライブパフォーマンスが行われます。

- 開催日時 12月2日(日) 13:00～16:00
- 開催会場 かながわ県民センター ホール
- 参加費 500円

* 主催;神奈川県国際協力ネットワーク

後援;横浜市神奈川区役所、横浜市国際交流協会、横浜市市民活動支援センター

ありがとうございました

【 新規会員の皆様 】

後藤 琢雄／毛利 広孝／杉田 光義／衿野 未矢／山口 愛子／中久保 慎一／古屋 久隆

【 継続会員のみなさま 】

和田 浩／岩永 孝子／塩沢 拓夫／佐藤 京子／藤巻 晴行／林 裕之／西村 歩／大矢 四十六

小山 功子／徳永 美和子／こじまこどもクリニック／大枝 純、美智子／下野 國夫

加藤 治郎／永井 邦子／中野 智之／野々山 富雄／大森 恵子／須藤 きい／村井 智恵子

菊池 博子／村上 康子／亘 友子／水真 陽一／橋口 日出男／田中 洋介／立田 紀雄

他 匿名をご希望の方 1名

【 ご寄付を頂きました。ありがとうございました。 】

服部 和美／榎本 みつ枝／手塚 太郎／西出 雅博／(株)INAX／江刺 和広／田中 清枝

天野 洋子／武田 てるよ／山崎 徹也／小池 昌子／西村 歩／(株)東京アグリビジネス／郷 保治

西村 豊子／皿江 恵子／村上 和代／秋山 光子／三宅 孝治／小林 伸張／丹 邦子／小池 昌子

浪川 光代／安良田 みり／家永 智子／中野 純子／宮本 政子／坪居 壽美子／田中 薫／永井 直子／広島YWCA

宗教法人幼きイエズス修道会／入江 成子／高 克暢／依田 裕子／矢島 昌子／石川 麻衣

他 匿名をご希望の方 221名

【 助成団体からの助成金 】

毎日新聞東京社会事業団 ／ 財団法人 地球市民財団

(敬称略、入金順)

上記は2007年4月1日から2007年7月31日までにご支援頂いた方のご芳名であり、2007年8月1日以降にご支援下さいました方については、次号の掲載とさせて頂きました。また、ご芳名の掲載につきましては、お名前の公開を承諾された方のみを掲載させて頂いています。あらかじめご了承下さい。

● お話させて頂きました。 ●

4月17日 岩手県 盛岡市立 見前中学校 (菅川)

5月16日 岩手県 盛岡市立 北陵中学校 (菅川)

5月23日 宮城県 多賀城市立 高崎中学校 (菅川)

5月24日 岐阜県 多治見市立 陶都中学校 (岡本)

6月14日 愛知県 大府市立 大府西中学校 (菅川)

♪1 事務所訪問や講師派遣のご依頼は、東京事務局までお気軽にお問い合わせください ♪

おしらせ

書き損じ葉書で国際協力しませんか？

書き損じ葉書、使わなかった古い年賀状などを大募集しております。1枚でもかまいません。どうぞ緑のサヘルにご寄付下さい。いただいた葉書は、新品や切手と交換もしくは換金し、活動に利用させていただきます。

絵葉書 プルキナファソからの便り

第47回産経児童出版文化賞受賞の小松義夫氏の作品による緑のサヘル特製プルキナファソ絵葉書も発売中です。

穀物を風で選り分ける婦人の姿が特徴的なAセット、タカバングウ村の少女も収められたBセットの2種類があります。また、今年からは一枚からでも販売しております。ご注文は緑のサヘル事務局までお願いいたします。なお、売上は活動費に充てられます。

価格400円/1セット(4枚)

100円/1枚

郵送ご希望の場合、郵送料は別途申し受けます。

2008年 緑のサヘル オリジナルカレンダー

今年も緑のサヘルでは「2008年オリジナルカレンダー」を制作・販売いたします。

ご購入のお申し込み方法等については、同封のチラシをご覧ください。

【目次】

- | | |
|---------------|--------------|
| 1・・・表紙 | 5・・・国内活動報告 3 |
| 2・・・サヘルレポート報告 | 6・・・イベント告知 |
| 3・・・国外活動報告 1 | 7・・・ありがとう |
| 4・・・国外活動報告 2 | 8・・・お知らせ |

<編集後記>

●気がつけば、すでに残暑を迎えています。長くなってしまった日本滞在を暑い自室でうだりながら過ごし、過ぎてゆく時間の速さにしみじみとしてしまいます。(岡本) ●7月中旬より1月半、プルキナファソに行って来ました。現地では青年海外協力隊の皆さんとお会いする機会も多く、若いエネルギーをふんだんに浴びて帰国しました。これからも頑張ります！(菅川) ●プルキナファソの首都ワガドゥグでみかける民芸品はとても個性的でアクセサリも本当にかわいらしいです。お休みなどを利用してショッピングをしています。日本にいる皆様にもイベントなどを通して楽しみをおすそ分けできればと思います。(竹越) ●数ヶ月前、ゴミ捨て場にほとんど枯れているアロエを発見、緑の残っている部分を取り出して持ち帰り、育てています。今朝、気づいたら小さい新しい芽が！(佐藤)

ご贈答品・ご挨拶にどうぞ

ハケ岳農場の特産品

ハケ岳中央農業実践大学校の特産品がさらに充実しました。これまでの手作りチーズとアイスクリームに加えて、チーズケーキ、カレー、ソーセージなどハケ岳の新鮮な材料と確かな技術から生まれた品々が勢揃いの10セットです。各地への送料を含めた価格は下記の表にございます。大学校のご厚意により、お求めごとに定価の20%が当会に寄付されます。

【お申し込み方法】郵便振替用紙にご依頼人様とお届け先様のご住所、氏名、電話番号、ご希望セット名と数量をご明記の上、下記までお振り込みください。

00140-9-50425「緑のサヘル」

お振り込みから到着まで10日程かかります。

		関東 信越 北陸 中部 南東北	関西 北 東北	中国	四国	北海道 九州	沖縄
A	アイス10個	3,800	3,900	4,010	4,110	4,210	4,420
B	アイス20個	6,400	6,500	6,610	6,710	6,810	7,020
C	チーズ	3,800	3,800	3,800	3,800	3,800	3,800
D	アイス / ケーキ2種	3,800	3,900	4,010	4,110	4,210	4,420
E	ムース	4,930	5,030	5,140	5,240	5,340	5,550
F	ケーキ	4,930	5,030	5,140	5,240	5,340	5,550
G	カレー / チーズ	5,000	5,100	5,210	5,310	5,410	5,620
H	ケーキ2種	3,230	3,330	3,440	3,540	3,640	3,850
I	カレー	3,580	3,680	3,790	3,890	3,990	4,200
J	チーズ / ソーセージ	5,730	5,830	5,940	6,040	6,140	6,350

内容の詳細は同封のチラシをご覧ください。

* チラシの価格には送料が含まれていません。送料込みの価格は、上記の表をご参考にしてください。

La Forêt, C'est la Vie ! Vol. 31

編集 岡本敏樹 菅川拓也 竹越久美子 佐藤裕美/発行 菅川拓也/発行所 緑のサヘル/印刷 社会福祉法人 東京コロニー

〒101-0035 東京都千代田区神田紺屋町16番地 田澤ビル3F TEL:03-3252-1040 / FAX:03-3252-1041

HomePage : <http://www.jca.apc.org/~sahel/> E-mail : sahel@jca.apc.org